

市川市立 南新浜小学校 学校だより

平成30年12月4日 No.9



ひかり



＝めざす子ども像＝
すすんで学ぶ子
心ゆたかな子
じょうぶな子

かけ算

九九道場

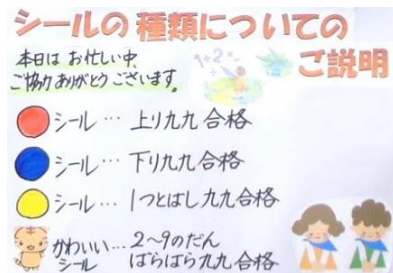
「ちょいぶらボランティア」のみんな
ありがとうございます

2年生を対象に、11月20日から12月14日まで「かけ九九道場」を実施しています。

地域の方や保護者の方が先生役となり、2年生がかけ算九九を唱えるのを聞いてもらいます。間違えずに唱えることができると、先生役の方から、かけ算カードにシールを貼ってもらいます。

唱える九九も写真のように4種類ありますが、担任1人の教室とは違い、多くの先生に聞いてもらうことができ、また、何回でも聞いてもらうことができるので、2年生はとても意欲的にかけ算九九に取り組んでいます。

かけ算九九は、3年生の「わり算」や「かけ算の筆算」の学習でも基本となるので、この機会にしっかりと身に付けてほしいと思います。



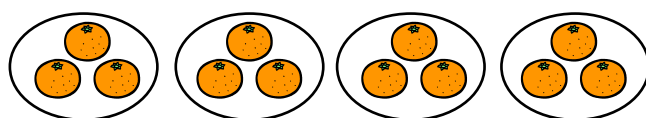
「かけ算九九」の他にも大切なこと

初めてかけ算を学習する2年生にとって、かけ算とはどのような計算なのか、計算の意味を理解することも大切です。例えば 3×4 の場合、かけ算の意味としては

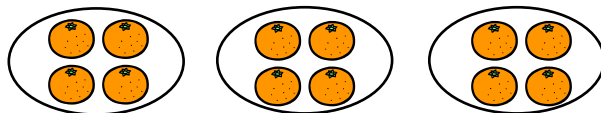
3個のまとまりが4つ → $3 \times 4 = 12$

です。 4×3 と答えは同じですが、かけ算の意味から考えると 4×3 ではありません。答えが合っていればよいということではなく、(1つ分) (いくつ分) が何にあたるのかを考えることは、5年生の割合の学習にもつながります。

また、かけ算の答えを児童が自分で考えていく活動も重要です。例えば、6の段のかけ算の答えは、次のような方法で考えていきます。



3個のまとまりが4つ → $3 \times 4 = 12$



4個のまとまりが3つ → $4 \times 3 = 12$

(1つ分) × (いくつ分) = (全体)



(もとにする量) × (割合) = (くらべる量)

$6 \times 1 = 6$
 $6 \times 2 = 6 + 6 = 12$
 $6 \times 3 = 6 + 6 + 6 = 18$
 $6 \times 4 = 6 + 6 + 6 + 6 = 24$

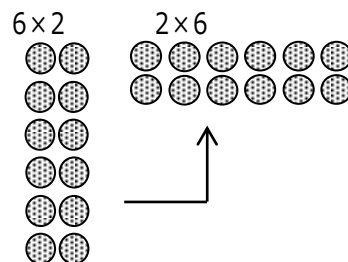
×2は2回、×3は3回たしていくことなので、たし算で答えを出す。

$6 \times 1 = 6$
 $6 \times 2 = 6 + 6 = 12$
 $6 \times 3 = 12 + 6 = 18$
 $6 \times 4 = 18 + 6 = 24$

6ずつ増えるので、一つ前の答えに6をたしていく。

$6 \times 2 = 2 \times 6 = 12$
 $6 \times 3 = 3 \times 6 = 18$
 $6 \times 4 = 4 \times 6 = 24$
 $6 \times 5 = 5 \times 6 = 30$

2～5の段は習っているので、×5までは交換法則を使う。



このように、かけ算の学習を通して、かけ算九九を覚えることはもちろんのこと、なぜそうなるのか考える力、思考力も育てながら授業を行っています。